

住民と行政の協働による

まちづくりの推進

大田市では、本年度を「まちづくり元年」と位置づけ、本格的に市民の皆様と行政との「協働によるまちづくり」をスタートしました。

市内を7つのブロックに分け、それぞれの地域にふさわしいまちづくりを協働により実践する「まちづくり委員会」を設置しました。この委員会は、コミュニティ組織の代表と公募による委員10人で構成され、まちづくりの推進母体として活躍いただくものです。

市としても、委員会が発、かつ円滑に活動できるように、地域を牽引するリーダーの育成や活動に対する支援を行います。

現在、委員会では、それぞれのコミュニティブロックの将来像を描く「まちづくり計画」の策定に取り組んでいます。今後、その計画の実現に向けて、住民と行政が協働でまちづくりを

進めていかなければなりません。

また、協働の担い手としてボランティア団体やNPO法人の役割も重要となります。市内では、10のNPO法人が活動しており、新たにNPO法人の設立を考えている団体もあります。そうしたボランティア団体やNPO法人の育成にも力を入れていきます。

まちづくり MEMO

◆第1回まちづくり委員会の開催

5月29日、(大田老人福祉センターにおいて)「第1回まちづくり委員会」合同会議を開催し、大田市の新しいまちづくりが本格的にスタートしました。

- 中央ブロック (大田・川合・久利・大屋)
- 東部ブロック (朝山・富山・波根・久手)
- 西部ブロック (鳥井・長久・静間・五十猛)
- 三瓶ブロック (志学・池田・多根・山口)
- 高山ブロック (大森・水上・祖式・大代)
- 温泉津ブロック (温泉津・湯里・福波・井田)
- 仁摩ブロック (仁万・宅野・大国・馬路)

◆まちづくりサポーターの配置

各地域で協働によるまちづくりを積極的に進めるため、市職員で構成する「まちづくりサポーター」を配置しました。

コミュニティブロックの編成地図



平成18年4月1日現在

ブロック	中央	東部	西部	三瓶	高山	温泉津	仁摩	合計
面積(km <sup>2</sup> )	86.8	62.7	28.9	88.9	65.5	71.8	31.5	436.1
人口(人)	13,237	7,630	7,547	2,421	2,109	3,789	4,831	41,564

定住促進に向けて

大田市では、定住促進を強力、かつ集中的に進めていくため、今年度「定住促進ビジョン」を策定します。

その推進母体となる「大田市定住促進本部」を4月28日に立ち上げました。

現在、「定住促進本部」においてビジョンの策定を進めていますが、定住促進には、若者にとって魅力あるまちづくりを進めるとともに、いわゆる「団塊の世代」といわれる方に、大田市に帰ってきたいと思っただけのようなまちづくりも重要となります。

このたび「定住促進ビジョン」の策定や施策の参考にするため、市外にお住まいの皆さんに対し、大田市に対する思いやU I ターン希望などのアンケート用紙を同封しましたので、趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

協働によるまちづくり及び定住促進については、大田市総合政策部地域政策課までお問い合わせください。

TEL : 0854-82-1600 FAX : 0854-82-6667

E-mail : o-tiiki@iwamigin.jp

大田市 協働によるまちづくりの取り組みについて紹介します